

平成21年10月23日

関係各位様

「ひろしまぶっくでいず～お好み本ひろしま～」

玉城ちはる コメント文

音楽業界と出版業界は同じように氷河期を迎えているように私は思います。音楽を好きな人はあまり図書館へは行きませんし、逆に本を好きな人もなかなかライブハウスには行きません。ですが、カフェで雑誌を読んだり店内を流れる音楽を楽しんだりされます。

日本ではなかなか読書会というものが浸透しませんが、私がよくライブ会場で目にするのは「歌詞がすきだから 詩の物語が好きだから」と詩についてファンの方々が語り合う姿です。

娯楽が飽和状態の中で、より自分の本当に好きなものだけに時間やお金をさくようになり、活字離れが叫ばれていますが、大好きなアーティストやそのファン同士で一つの本について語り合ったり、その時間に音楽が流れることによって音楽と本というのは、より仲良く出来るのではないかと思います。

私自身、自分の好きな本しか日頃なかなか読まなかったりしますが、ブッククローキングゾーンを含め、お好み本市場などで自分の普段触れないものに触れる機会が増えればいいなあと思っています。

ちょっと敷居が高い感じのする読書というものを、私を通してより耳で世界を楽しむ人達とともに、文字に触れあう時間を増やしてもらい、

「人と人」「本と音楽」のふれあいの架け橋になればと思います。

ブッククローシンガー

玉城ちはる